

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1101007

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○既設町営住宅屋根葺替改修 ・平成25年度一潮見団地(2階建)5棟
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	既設町営住宅団地環境整備事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	既設町営住宅の維持		#N/A	
事業目標	浴室改修1団地、屋根改修5団地	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	1	関係例規・法令名	2 公営住宅法	
住民協働		関係個別計画名	2 公営住宅長寿命化計画	

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	○日の出団地浴室改修工事2棟6戸 ○既設町営住宅団地屋根塗装改修工事 ・日の出団地—2棟 ・末広二区団地—3棟 ○既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 ・宮下団地—7棟 ・潮見団地—5棟 ・新町団地—8棟	日の出団地浴室改修 2棟6戸 既設町営住宅団地屋根塗装改修 幌内団地—3棟	既設町営住宅団地屋根塗装改修 日の出団地—2棟 末広二区団地—3棟	公営住宅長寿命化計画策定	既設町営住宅屋根葺替工事 宮下団地—7棟	既設町営住宅屋根葺替工事 新町団地—8棟	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	29,510	6,460	3,450	3,000	7,000	9,600
財 源 内 訳	国庫支出金	11,053	2,233		1,350	3,150	4,320
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	18,457	4,227	3,450	1,650	3,850	5,280
実 績 事 業 費	事業費(千円)	28,232	6,118	3,182	2,835	6,773	9,324
財 源 内 訳	国庫支出金	11,657	2,191		1,418	3,386	4,662
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	16,575	3,927	3,182	1,417	3,387	4,662
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ○社会資本整備総合交付金 【評価・実績】	(実施内容等) 日の出団地浴室改修 2棟6戸 既設町営住宅団地屋根塗装改修 幌内団地—3棟 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 日の出団地他1団地屋根塗装改修 日の出団地2棟6戸 末広二区団地3棟12戸 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 公営住宅長寿命化計画策定 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 宮下団地屋根葺替—7棟 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 新町団地屋根葺替—8棟 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	
第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	浴室改修6戸、屋根塗装3棟	屋根塗装5棟18戸	屋根塗装7棟	屋根葺替7棟	屋根葺替8棟	
	年度達成率	95%	92%	95%	97%	97%	
	全体達成率	21%	32%	41%	64%	96%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	既設町営住宅団地環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町営住宅入居者・町営住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	既設戸数の確保								
【抱える課題やニーズは】	建替までに相当の期間を要する団地住棟に対する適切な維持管理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	適切な維持管理による居住環境の向上	① 実績戸数 改修戸数の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20戸(8棟)</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>20戸(8棟)</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	20戸(8棟)	実績値	20戸(8棟)	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	20戸(8棟)										
実績値	20戸(8棟)										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	良好な住環境と既存ストックの長寿命化の確保	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、町営住宅新町団地8棟20戸の屋根葺替工事を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	住棟・住戸について、適切な維持管理による良好な住環境を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	適切な維持管理により、良好な住環境と既存ストック住宅の長寿命化が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	市場単価の調査による適正な積算価格での発注及び適切な維持かんりによる既存ストック住宅の長寿命化が図られることは、コスト縮減につながり効果的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

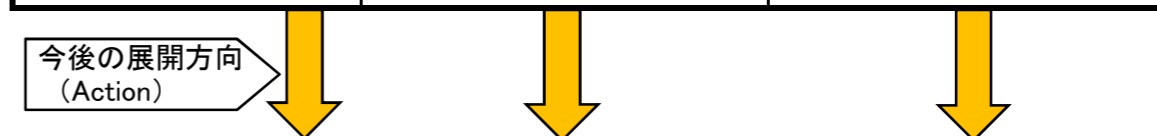
公平	判断の理由	事業実施により、良好な住環境が確保されたことは公平であると判断される。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公営住宅ストックの長寿命化に資する計画的維持管理、修繕及び居住環境の維持向上のための住環境整備は、今後も計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
居住性や安全性が確保され長期的な活用を図るべき公営じゆうたくについて、長寿命化型改善事業による住環境整備は必要であり、継続、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止